

北川ダム建設事業ダム検証に係る検討結果

【北川ダム建設事業「検討の場」検討結果】

説明概要

項目	内容
1. 北川ダム建設事業検証に係る検討	検証の概要、スケジュール等
2. 北川ダム建設事業の概要	概要、経過、諸元等
3. 安曇川の流域および概要	河川、流域の特徴、過去の治水対策
4. 県の治水政策	中長期整備実施河川の検討結果
5. ダム事業の点検結果	現在のダム事業の点検結果
6. 現在の安曇川の治水安全度	測量結果に基づく現況流下能力、堤防点検状況
7. 目標とする治水安全度	【長期的な目標】と【当面の整備目標】
8. 当面の整備目標を達成する方法 (複数の治水対策案)	一次抽出案の検討結果、二次抽出案(3案)を抽出
9. 国の評価軸による評価結果	抽出3案の国の7つの評価軸による評価結果
10. 地先の安全度による評価結果	抽出3案の「地先の安全度」による評価結果
11. 時間的な観点からの実現性の評価	国の基準に基づく時間的な観点からの実現性の評価結果
12. 総合評価結果	提示3案について、国の7つの評価軸と「地先の安全度」による総合評価結果
13. 選定案の進め方	河道改修案の進め方他

1. 北川ダム建設事業検証に係る検討 について

個別ダム検証の進め方（有識者会議の中間とりまとめ）

[ア] 有識者会議「中間とりまとめ」公表(平成22年9月)

[イ] ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目の策定

[ウ] 国土交通大臣が個別ダム検証の検討を指示、要請

[エ] 検討主体による個別ダムの検証に係る検討

[カ] 目的別の検討

事業等の点検
[オ] 検証対象ダム

(洪水調節の例)

[キ] 複数の治水対策案の立案

- (1) 治水対策案は、河川整備計画において想定している目標と同程度の目標を達成する
- (2) ダム案とダム以外の案を複数立案する
- (3) 各治水対策案は、河川を中心とした対策に加え流域を中心とした対策を含めて様々な方策を組み合わせる

治水対策案が多い場合

[ク] 概略評価による治水対策案の抽出

2~5案程度に抽出

[ケ] 治水対策案を評価軸ごとに評価(国の7つの評価軸)

- (1) 治水対策案を環境への影響などの様々な評価軸で評価する
- (2) 現状における施設の整備状況や事業の進捗状況等を原点として検討する

[コ] 目的別の総合評価(洪水調節)

[セ] 検証対象ダムの総合的な評価

[ソ] 対応方針(案)等の決定

[タ] 検討主体から本省への検討結果の報告

[チ] 有識者会議

[ト] 河川整備計画変更等の手続き

中止等の場合

[テ] 本省による対応方針の決定

中間とりまとめから乖離した検討が行われた判断される場合

[ツ] 国土交通大臣が再検討の指示又は要請

[ナ]

【検証の進め方のポイント】

検討主体は、次のような進め方で検討を行う。

「関係地方公共団体からなる検討の場」の設置

情報公開、パブリックコメントの実施

学識経験を有する者、関係住民、関係地方公共団体の長、関係利水者からの意見聴取

検討主体は、事業評価監視委員会の意見を聴き、対応方針(案)を決定する。

北川ダム建設事業の検証に係る検討の流れ

第1回 「検討の場」(平成23年2月12日)

第2回 「検討の場」(平成23年6月 5日)

第3回 「検討の場」(平成23年9月11日)



パブリックコメントの実施(平成23年10月12日～11月11日)

地域別意見交換会(7カ所:平成23年11月19日～12月3日)



学識者からの意見聴取「淡海の川づくり検討委員会」
(平成23年12月21日)

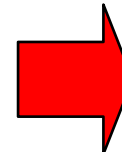
「報告の場」(平成24年1月予定)



県公共事業評価監視委員会の意見聴取(平成24年1月予定)



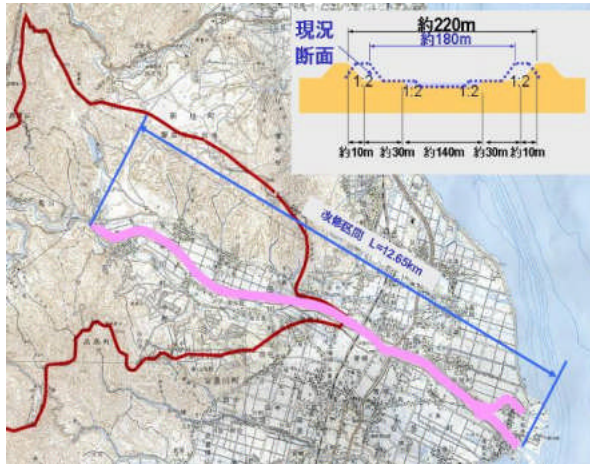
県の対応方針決定



国へ報告

2 . 北川ダム建設事業の概要について

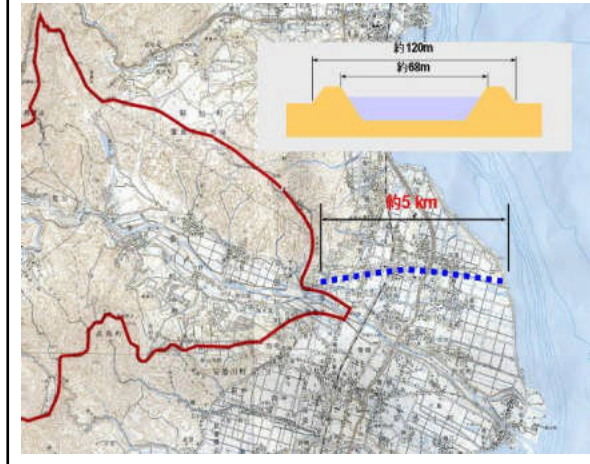
安曇川の治水対策（代替案比較）整備目標約 1 / 5 0



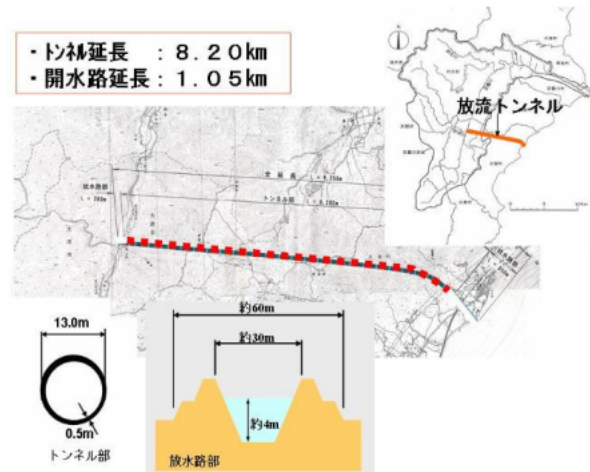
河道改修案（582億円）



遊水地案(600億円)



放水路案（785億円）



トンネル放水路案(691億円)



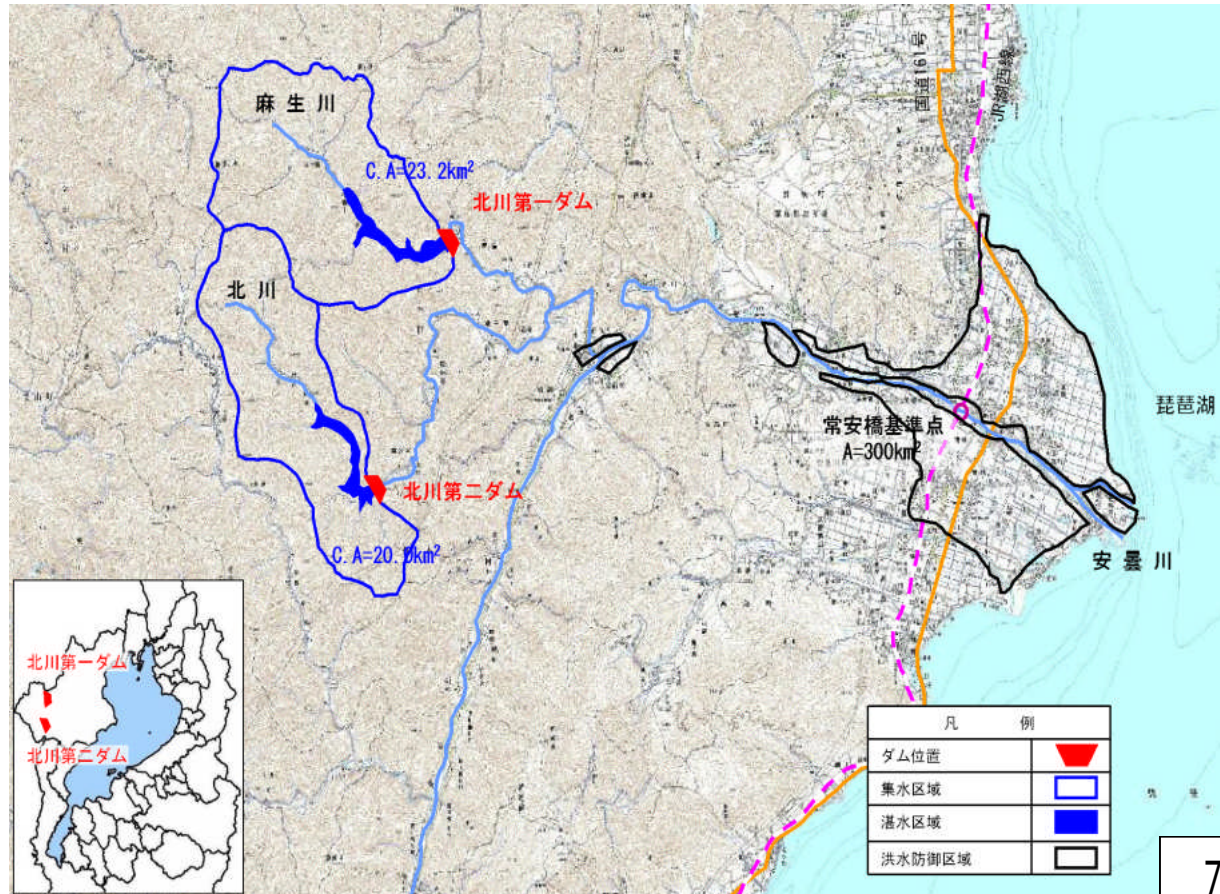
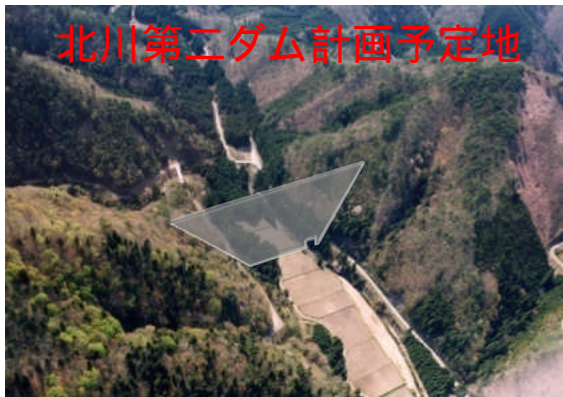
ダム案（501億円）

遊水地案・放水路案・トンネル放水路案・ダム案の事業費には河道改修費を含む

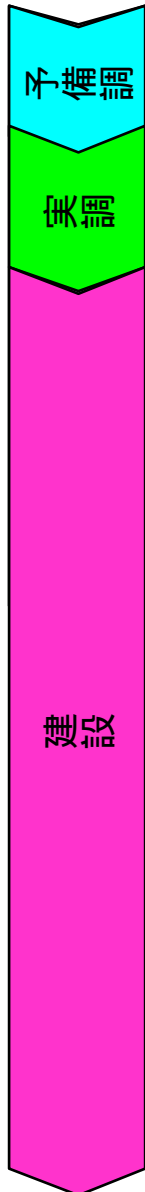
公共工事再評価監視委員会資料より

北川ダム建設事業の概要

水系・河川名 一級河川 淀川水系安曇川
 (第一ダム：支川麻生川、第二ダム：支川北川)
ダム所在地 第一ダム：高島市朽木麻生、第二ダム：高島市朽木雲洞谷
全体事業費 430億円 (北川治水ダム建設事業：2ダム1事業)
事業の進捗率 26.5% (平成22年度末時点：114億円執行済み)



事業経緯

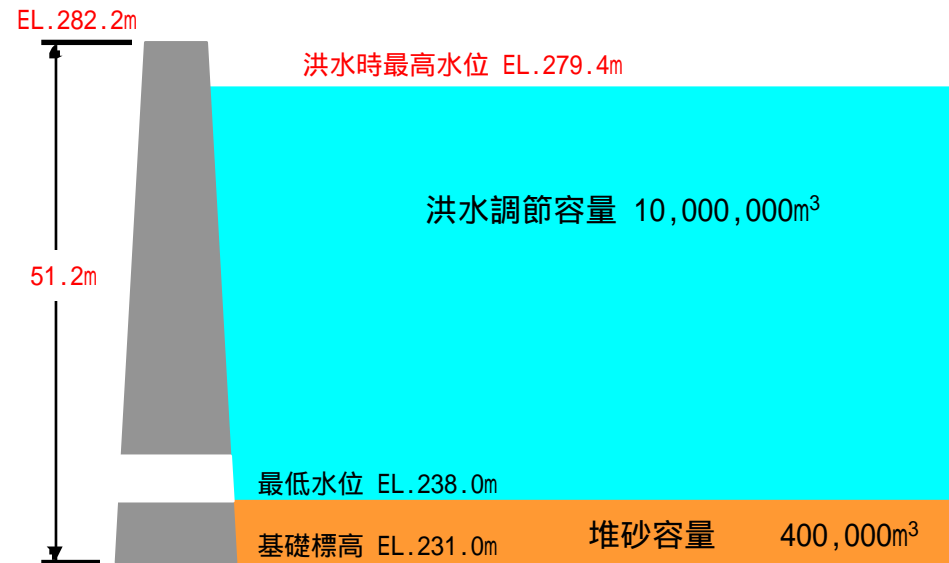


- 予備調査 (昭和48年度～昭和60年度：13年間)
- 実施計画調査 (昭和61年度～昭和63年度：3年間)
- 平成元年 4月 建設事業 (平成元年度～平成22年度：22年間)
- 平成 6年 4月 環境影響評価 実施
- 平成 7年 3月 北川第一ダム建設事業に関する基本協定書締結
- 平成 9年12月 <第一>損失補償基準締結・用地補償着手
- 平成11年度 <第一>工事用道路工事着手
- 平成13年度 河床部穴あきダムへ変更
- 平成19～20年 猛禽類調査「イヌワシ・クマタカ小委員会」
- 平成20年10月 中長期整備実施河川の検討結果・公表
- 平成20年11月 県公共事業評価監視委員会「継続」

ダム計画諸元

【北川第一ダム】

目的	洪水調節
集水面積	23.2km ²
湛水面積	0.57km ²
洪水時最高水位	EL.279.4m
最低水位	EL.238.0m
総貯水容量	10,400,000m ³
有効貯水容量	10,000,000m ³
洪水調節容量	10,000,000m ³
堆砂容量	400,000m ³

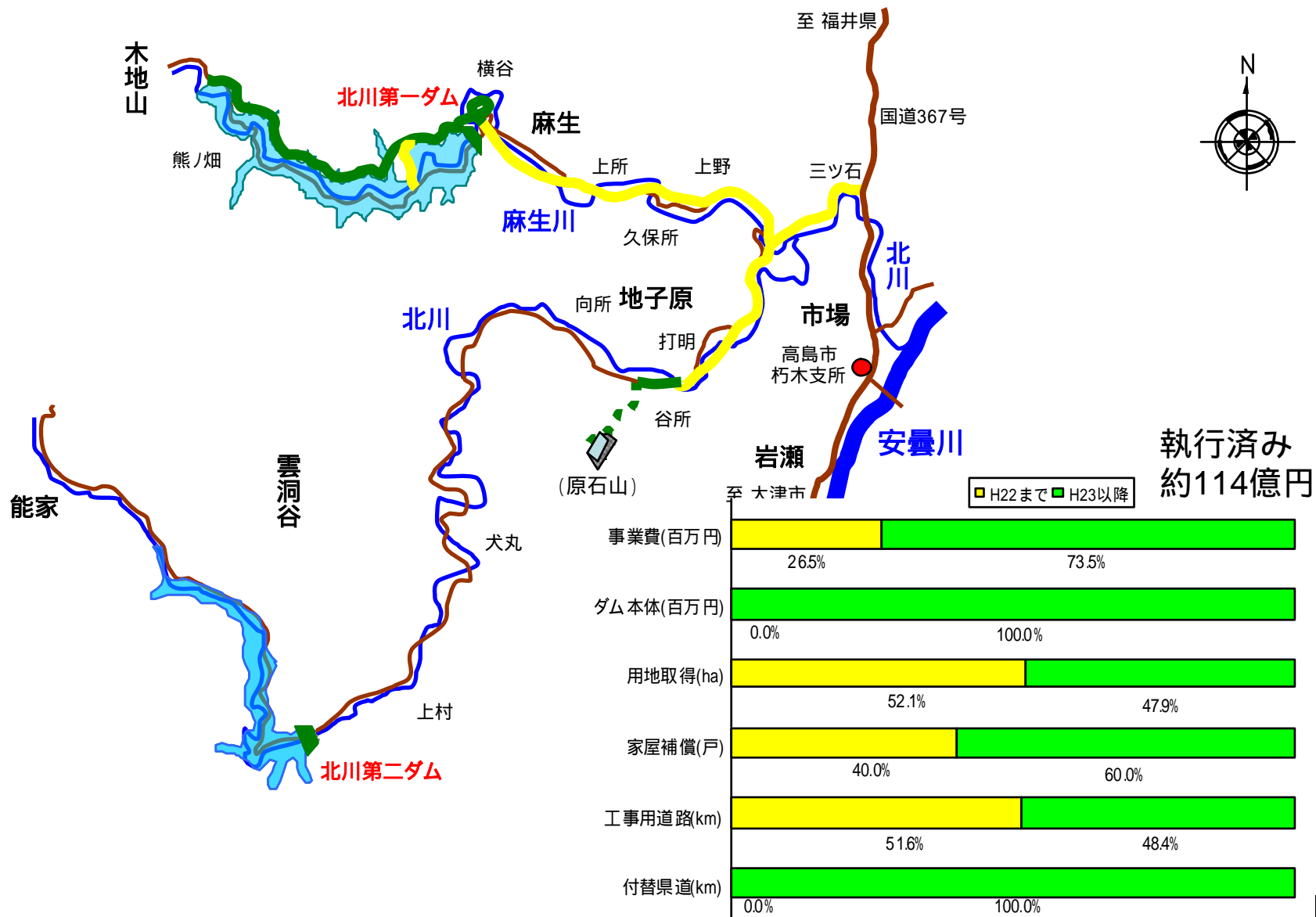


【北川第二ダム】

目的	洪水調節
集水面積	20.0km ²
湛水面積	0.58km ²
洪水時最高水位	EL.348.4m
最低水位	EL.309.0m
総貯水容量	9,940,000m ³
有効貯水容量	9,100,000m ³
洪水調節容量	9,100,000m ³
堆砂容量	840,000m ³

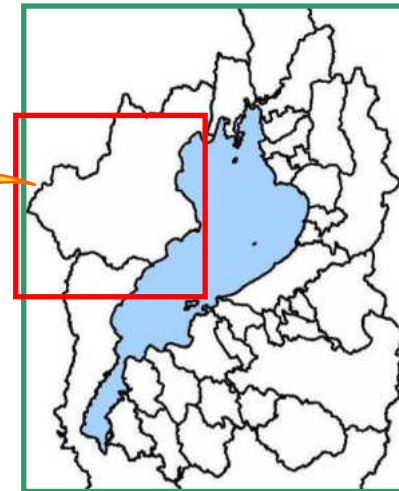


事業の進捗



3 . 流域および河川の概要について

安曇川の概要



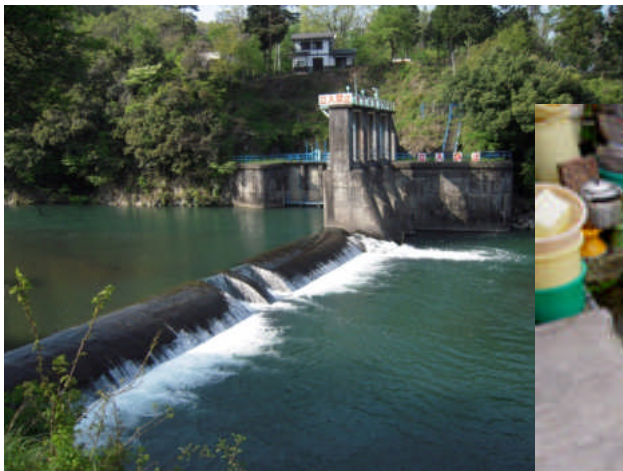
河口より上流を望む

流域面積: 約 300 km²
流路延長: 約 57.9 km

河川の特徴(流域の特徴) 1

下流部の水田へのかんがいは、合同井堰によりほとんどまかなわれています。扇状地および三角州が形成されている地域は、地下水利用が盛んです。旧家では「かばた(川端)」と呼ばれる湧水を利用する場所があり、炊事、洗濯等に使用されています。

下流部の川沿いには、竹を中心とする河畔林が形成されており、地域の防災に重要な役割を果たすとともに、扇骨の材料としても使用され、地域の産業を支えてきました。



合同井堰



かばた



安曇川河畔林での啓発イベント

河川の特徴(流域の特徴) 2

中流域では堤防が不連続になっている「霞堤」や、堤防が二重になっている「二線堤」が残っています。

二線堤の不連続部を洪水時には閉塞するための角落としが存在しています。



過去の主な水害

昭和28年台風13号など

■ 旧安曇川町二ツ矢地先の堤防決壊状況



台風13号の被害

- ・死者13名
- ・行方不明1名

■ 旧安曇川町川島地先の堤防決壊状況



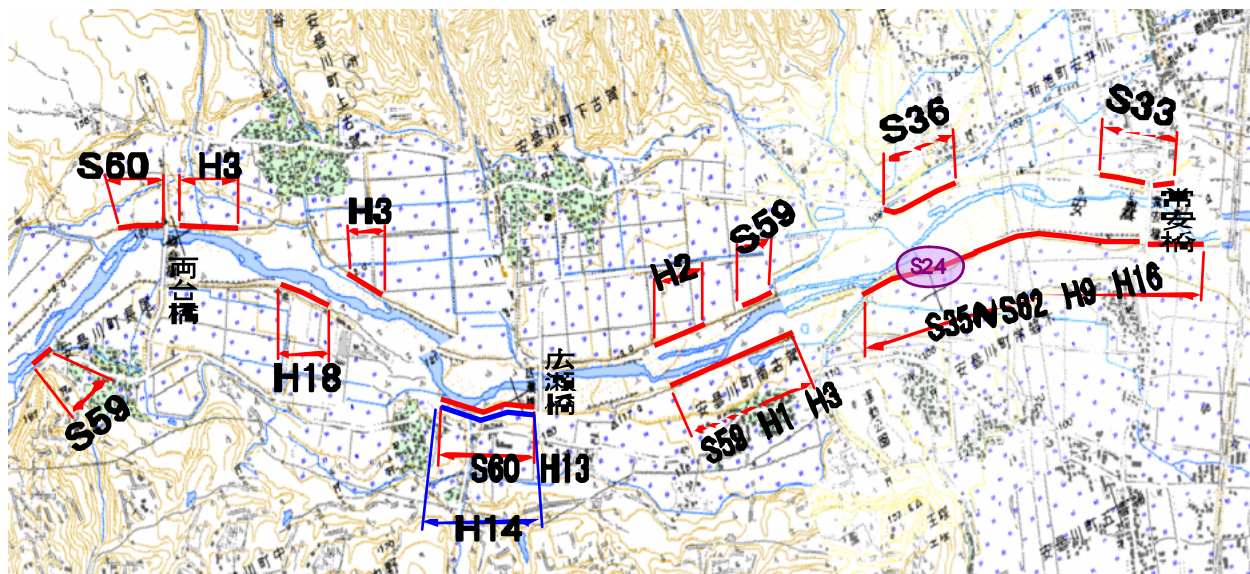
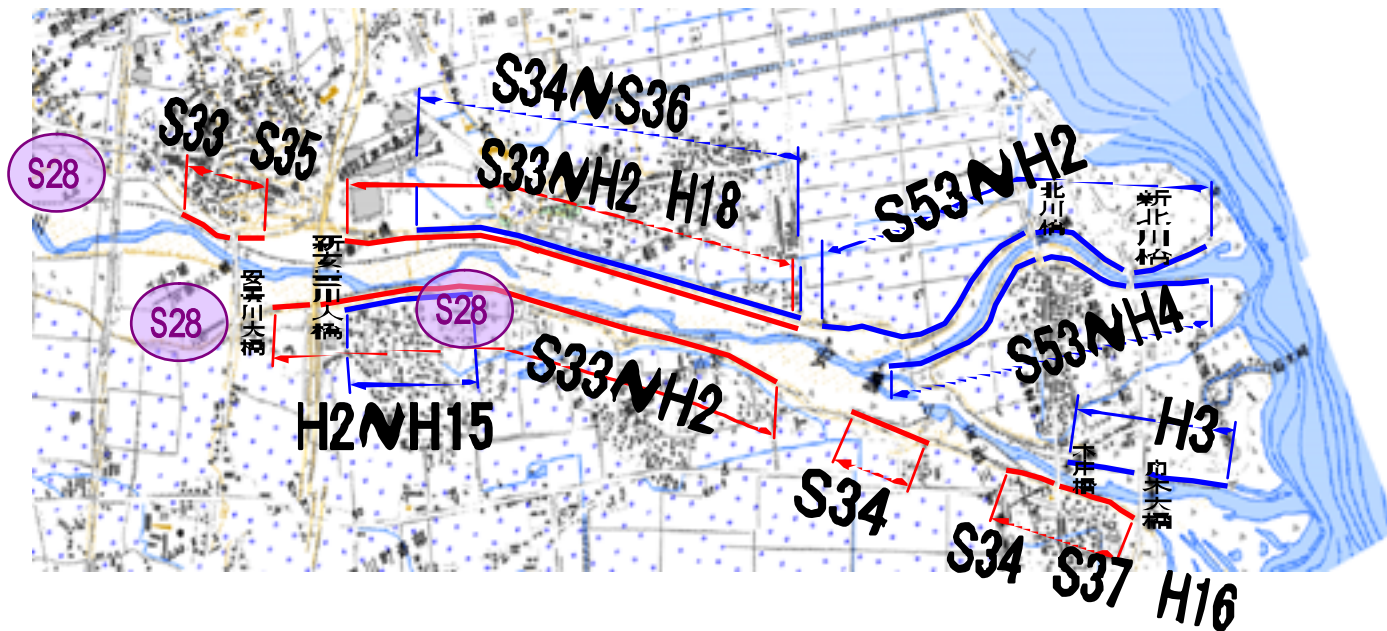
青柳区所蔵写真集より

これまでの治水対策1

■ 河川整備位置図

昭和32年度から現在までの河川改修事業と災害復旧事業の実施箇所を示しています。

なお、安曇川中小河川改修事業では、河口から4km付近まで、約2,100m³/sの整備を行っています。

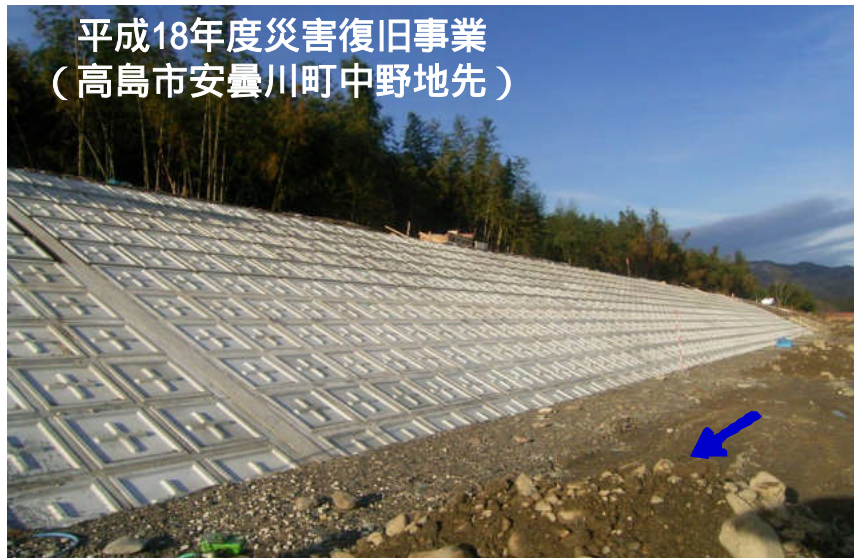


凡例

- …… 災害復旧事業
- …… 河川改修事業
- …… 主な災害箇所 (昭和33年以前)

これまでの治水対策2

河川整備状況



安曇川河川工事概要

事業		施工年度	工事予算	工事概要
補助事業	中小河川改修工事	S32年度～H10年度	3,460百万円 (事業費)	築堤、護岸、橋梁、用地補償
	災害復旧工事	S33年度～H18年度	1,650百万円 (工事費)	護岸工、根固工
単独事業	河川改良工事	H元年度～H14年度	760百万円 (工事費)	護岸工、護床工

既存資料で確認できる事業のみ集計

4 . 県の治水政策について

中長期整備実施河川の検討

【検討の趣旨】 県下の多くの河川の治水安全度は依然として低く、一方治水関係事業予算の減少の中で、今後とも治水事業を着実に推進していく必要がある。

このため、県内河川の治水安全度のバランスを確保しつつ、効率的・効果的に、県全体の河川の治水安全度を段階的に高めていくため、「中長期整備実施河川の検討」を行い、平成20年10月にその結果を公表した。

中長期整備実施河川の検討結果による安曇川的位置付け

- **安曇川は、Aランク河川**
(優先して整備を実施すべき河川)
- **同時に、安曇川は、Tランク河川**
(堤防点検・評価結果に基づき、堤防強化対策を実施すべき河川)